資 料 番 号	15

令和７年５月 23 日
課　名　環境県民局循環型社会課
担当者　課長　石田
内　線　2950

令和７年度災害廃棄物処理に係る訓練の実施について

１　要旨・目的

近年多発する気象災害（台風、大雨等）や、地震等の大規模災害において発生する災害廃棄物の処理について、処理の主体となる市町の現場対応力の向上及び関係機関との連携強化を目的とし、重要な初動対応の一つである仮置場の設置運営に係る模擬訓練を、竹原市及び三次市の協力を得て開催する。

２　現状・背景

県及び市町は、災害廃棄物処理計画及び初動マニュアルを策定し、それに基づき災害廃棄物対策を行うこととしている。

例年、各市町の対応能力の維持強化を図るため、災害廃棄物処理において重要な初動対応等についての研修・訓練を実施している。

これまで県内一か所で実施してきたが、発災時の実効性を高めるため開催場所を二か所に増やし、毎年度開催場所を変更しながら地域の実状を踏まえた訓練を実施することで、各市町の対応力の更なる向上を図ることとした。

３　概要

(1)　実施主体

県が県内 23 市町及び廃棄物業界団体の協力を得て実施

(2)　実施時期

ア　令和７年５月 22 日（木）10 時 00 分 ～ 15 時 30 分
イ　令和７年５月 29 日（木）10 時 00 分 ～ 15 時 30 分

(3)　場所

ア　竹原浄化センター（竹原市下野町）
イ　三次環境クリーンセンター（三次市廻神町）

(4)　実施内容

ア　対象者

県、市町及び廃棄物業界団体（広島県資源循環協会、広島県清掃事業連合会）職員

イ　内容

○　仮置場レイアウトの検討（廃棄物の配置、車両動線の検討等）
○　住民向け広報資料の作成（仮置場開設期間の検討を含む）
○　仮置場の設置・運営（看板設置、車両動線の確保等）
○　仮置場運営に係るロールプレイング（廃棄物の受付・積み下ろし等）
○　振り返り・意見交換（後日実施）

4　その他

(1)　令和７年４月 23 日（水）に、次の内容で、令和６年能登半島地震における災害対応状況も踏まえたオンライン事前学習会を実施。

○　近年の災害対応状況を踏まえたタイムライン及び仮置場や公費解体に係る業務の留意事項等の確認

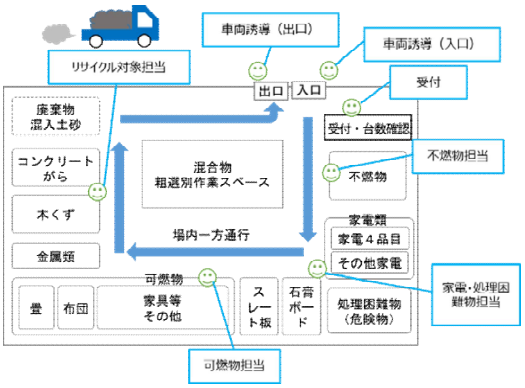
○　市町初動マニュアルを用いた演習（情報収集、収集・運搬体制の確保、支援要請、仮置場の設置運営等）

(2)　初動体制に関する研修で使用するタイムライン

	発災	１日後	２日後	３日後	１週間	２週間
１．組織体制の確立	(1) 職員の安否及び参集状況の確認 (2) 組織体制の検討 (3) 庁内の連携	(4) 他組織との連携				
２．情報収集・報告	(1) 被害状況の把握	(2) 情報の共有・報告				
３．支援要請・支援受入		(1) 支援メニューの確認	(2) 支援が必要な項目の確認 (3) 支援要請		(4) 支援の受入	
４．一次仮置場の確保・運営		(1) 場所の選定 (2) 管理体制・レイアウト等の決定 (3) 住民への周知 (4) 搬入開始			(5) 一時仮置場からの搬出開始	

(3)　仮置場の設置・運営に係る模擬訓練の様子（令和６年度）

仮置場レイアウトの検討



レイアウトのイメージ

仮置場の設置

仮置場の運営